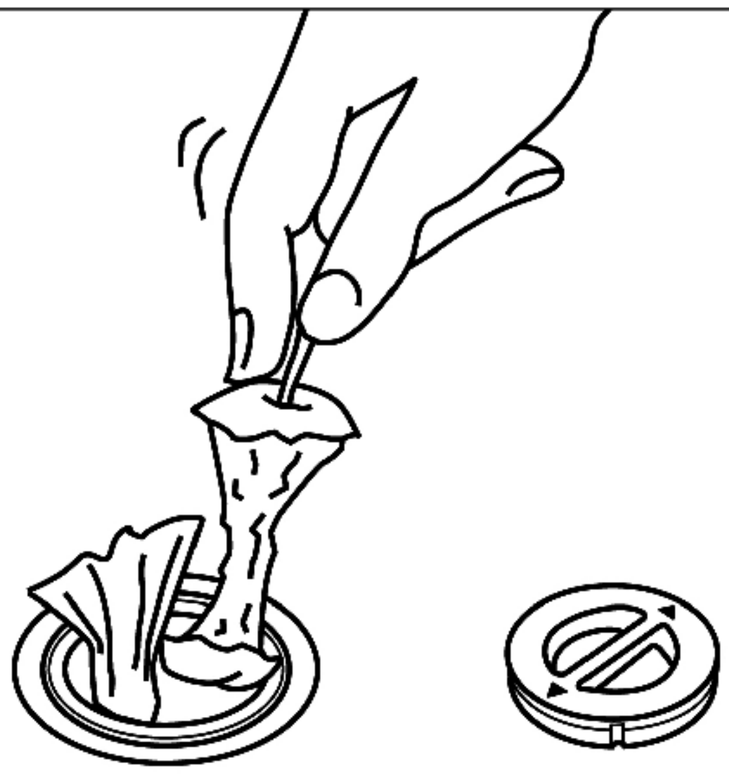
取扱い説明書

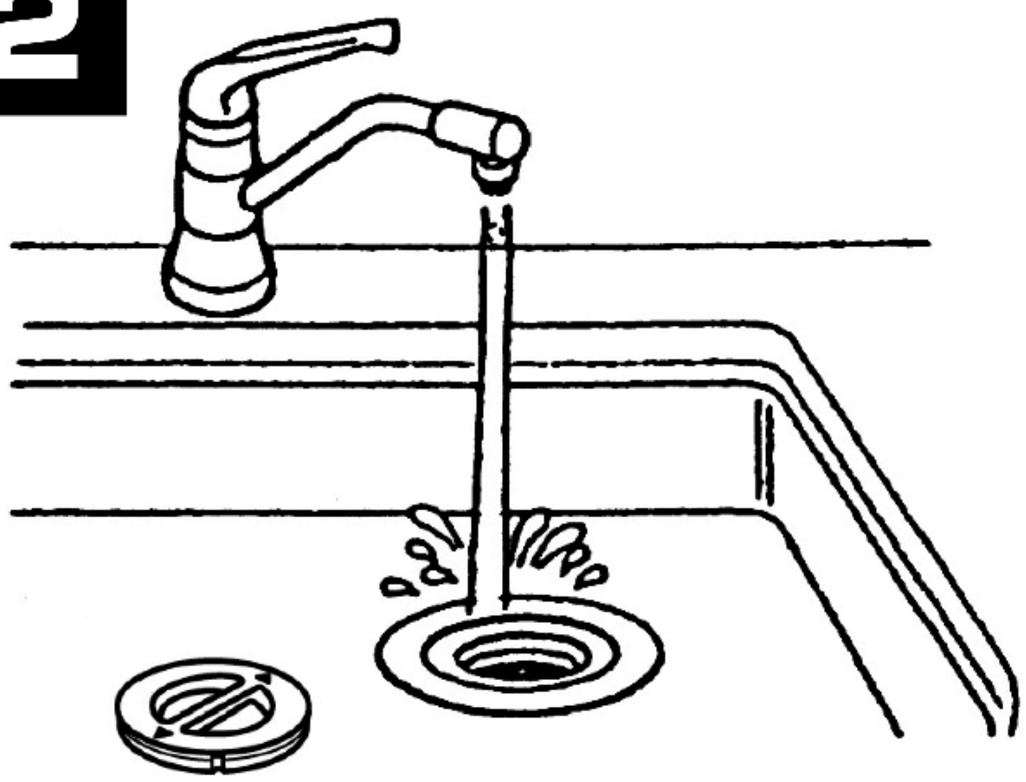
●操作

1



生ごみを投入します。

2

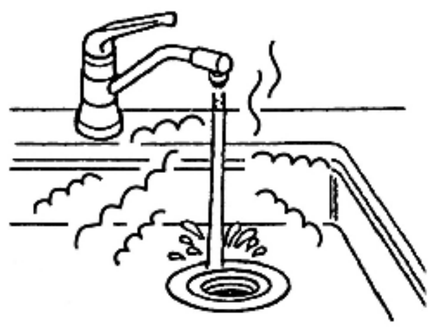


水栓を開き毎分８リットル（蛇口全開の半分程度）の水を流します。

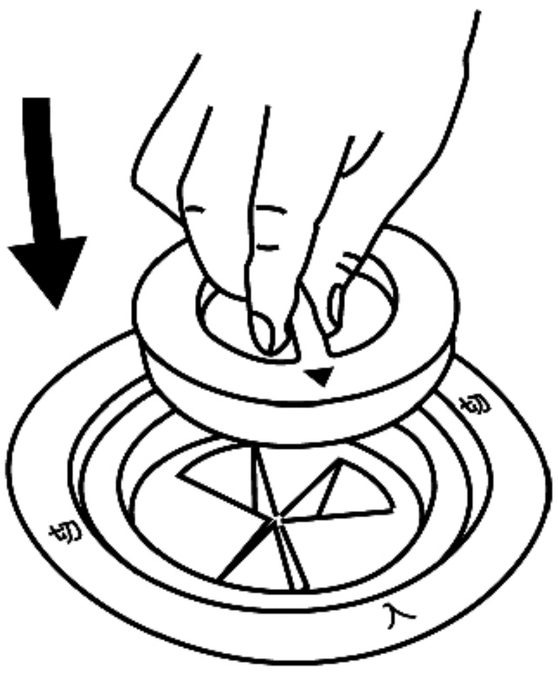
水量が少ないとディスポーザ内部に生ごみが残り、異臭の原因になります。また配管の詰まりの原因にもなります。

⚠ 注意

●60℃以上のお湯を連続的に流さないでください。配管の変形・劣化の原因になります。



3



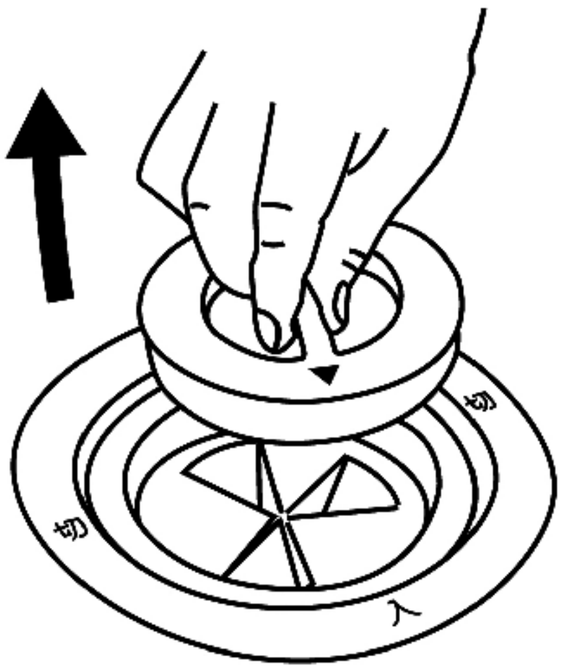
投入口にフタスイッチを「入」に合わせて入れてください。運転が開始されます。

オプションの手元スイッチを接続している場合は手元スイッチを「ON」にして下さい。
確実にフタをしないと、運転しません。

⚠ 注意

●運転中に金属音や非常に大きな音がした場合は、ただちにフタをはずじて、運転を停止してください。運転を続けるとディスポーザの故障の原因になります。

4

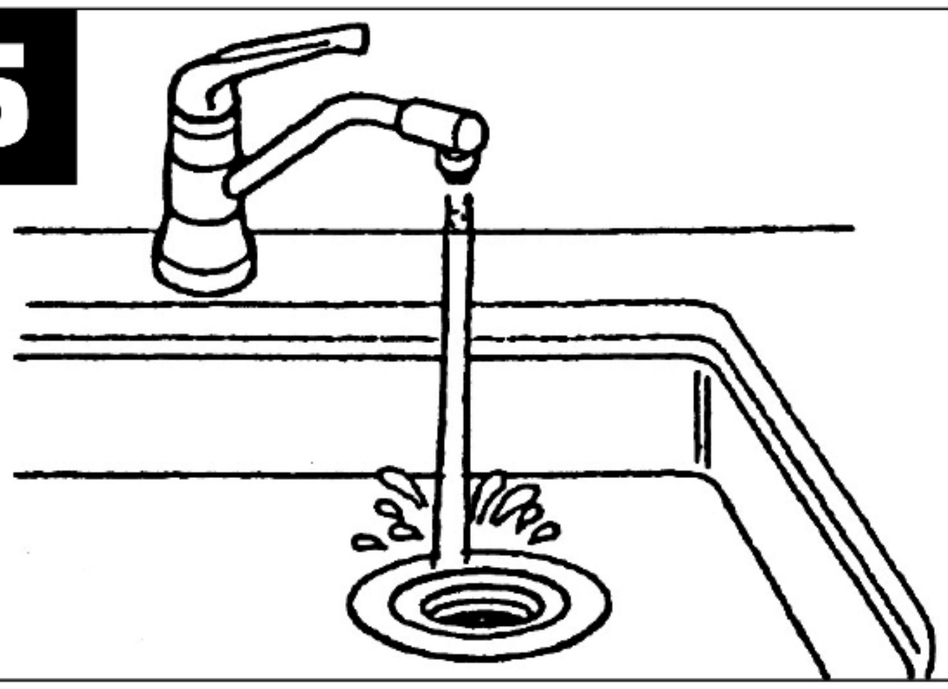


ディスポーザの運転音が静かになりましたら、フタスイッチをはずして運転を停止してください。

生ごみの破砕は終了しています。

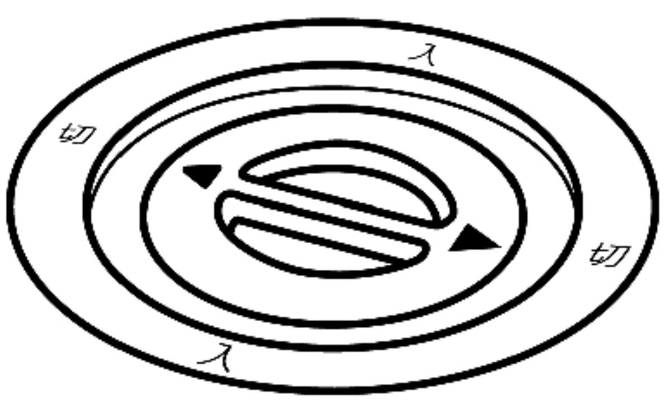
※始動後５分間経過すると、タイマ機能により運転が自動的に停止します。再び始動する場合は、フタスイッチを外して再度「入」に合わせて下さい。

5



配管の詰まりを防ぐため、運転を停止した後も、約10秒ほど水を流してから水栓を閉めてください。

6



使用しない時は、フタスイッチを「切」の位置に合わせて、入れておいてください。

⚠ 注意

※フタスイッチには磁石が内蔵されています。

フロッピーディスク・時計・医療機器等、磁石の影響を受けるものを近づけない様にして下さい。

※誤操作を避けるために、シンクフランジ近辺に磁力を持つ物を近づけないで下さい。

⚠ 警告

ディスポーザの使用にあたっては、次のことを忘れないで下さい、

- ディスポーザの中には絶対に手を差しこまないで下さい。
- ディスポーザに詰りが起きたり、モーターの保護器が切れたりしたときには、必ずまず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、詰りを除去し、リセットボタンを押して下さい。
- 熱した油やグリース類、化学薬品などは絶対に流さないで下さい。

正しくお使いいただくために

●処理中には蛇口全開の半分程度の水を流し、処理後も10秒間流したあとで水を止めて下さい。

●処理が終わる前にディスポーザの運転を停止したり水を止めることは避けて下さい。

投入してもよいもの

●食品くず●

野菜くず、果物くず・御飯、魚肉・いわしなどの小魚の骨、手羽元などの鳥の骨・昆布などの海藻類、肉類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、残飯など

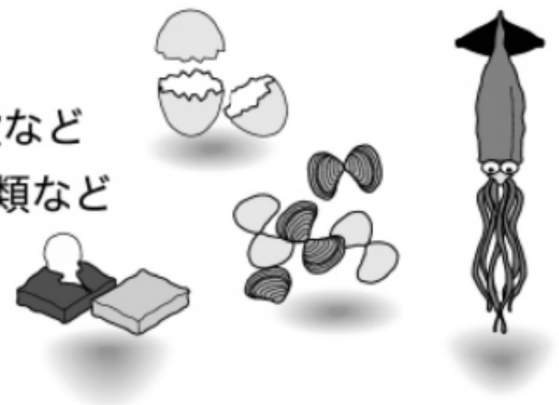
※　スイカの皮、メロンの皮、とうもろこしの芯、グレープフルーツの皮などの大きなごみ、厚みのあるごみは、数センチ程度に小さく切って投入すれば、問題なく粉砕できます。

※　同じ種類のごみだけを投入するより、何種類かのごみを混ぜて投入した方が、粉砕が楽に行われます。

●同種類のごみだけで大量に投入する場合●

※　少しずつ他のごみと混ぜて投入してください。(同種類のごみだけの大量投入はお避けください)

- 繊維質のもの　…… 枝豆の皮など
- 流れにくいもの　…… 卵の殻、しじみ・あさり等の貝殻など
- 粉砕に時間がかかるもの …· 生魚の皮や鳥の生皮、イカ・タコ類など
- やわらかくねばりのあるもの ·· ご飯、うどん、もちなど
- 重さが軽く粉砕しにくいもの ·· たまねぎの皮、お茶の葉など



投入してはいけないもの

※　故障・排水管のつまり・処理槽への影響があるもの

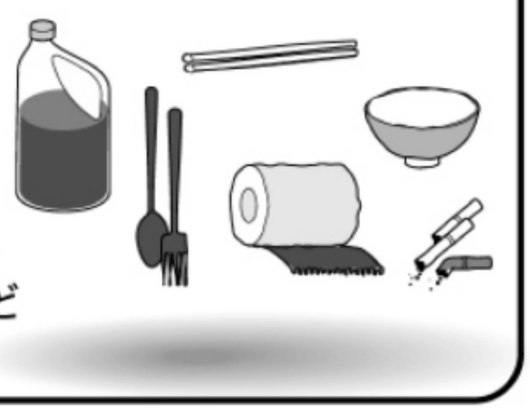
- とても固い骨・殻 ……牛・豚の大骨、サザエ・牡蠣・あわび等の大きな貝殻、大きなカニの殻など
- 特に硬い繊維質のもの ··とうもろこしの皮、たけのこの皮など
- 大量の熱湯、大量の熱い食品など、高温の湯はディスポーザをいためますので冷ましてから投入してください。

絶対に投入してはいけないもの

食器洗い等に普通に使用される量の洗剤、
鍋などに付着している程度の油は問題ありません

※　食品くず以外のもの

- ■ 油類 …… 多量のサラダ油、大量のてんぷら油など
- ■ 薬品類 …… 多量の洗剤、多量の薬品、溶剤(シンナー)など
- ■ 食品くず以外のもの ·· 金属・プラスチック・ガラス・陶器・紙・木類、輪ゴム、ビニール袋、キッチンペーパー、タバコの吸い殻など



日常のお手入れ（消臭方法、ヌメリ取り）

ディスポーザから異臭がするのは通常、流水の量が不足し内部の清掃が良く行われなかった結果、少量の油脂や残余物が蓄積している場合が多いので次の処理を行って下さい。

1．レモンの皮を１～２個分処理して下さい。
2．ディスポーザの電源を切り、フタスイッチの下のゴム製のスプラッシュガードの裏側を清掃します。その後、ディスポーザ本体内部の上部入り口を磨いて下さい。
3．流しに止水蓋で栓をしてぬるま湯を半分程満たします。そこに重曹（大匙４～５杯）を加えてかき混ぜ重曹溶液を作ります。ディスポーザのスイッチを入れて、蓋を外します。これで水はディスポーザ内部の隅々まで行きわたり、清掃が行われます。重曹がディスポーザの内部の汚れを除去します。
4．ヌメリがある場合は、角氷を５～６個ディスポーザに入れて破砕して下さい。

⚠ 注意

重曹が目に入らないように注意して下さい。

⚠ 警告　火災事故、感電事故、人身障害等の危険についてのご注意

電気器具をご使用の場合にはつぎのような基本的な注意事項を必ずお守り下さい。

1．器具をご使用になる前に必ず取扱い説明書をお読み下さい。
2．ご使用中、子供が近くに居るような場合には、とくに注意して事故が起こらないようにして下さい。
3．指や手をディスポーザの中に入れないで下さい。
4．ディスポーザから異物を取り除く場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、長柄のドライバーかプライヤーを使用して異物を取り除いて下さい。異物がディスポーザ内部に噛み込んで取り出しにくい場合は、サービスレンチをディスポーザ底部の中心にあるモーターシャフト穴に差し込んで手動でいずれかの方向に回転させるとはずれます。
5．ゴム製のスプラッシュガード（水飛散防止）が劣化して、水滴のはねかえりや噴出の防止能力が落ちた場合には交換して下さい。
6．リセットボタンを押す場合には、必ず前もって電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
7．アースに関するご注意。
- ●本機器は必ずアースして下さい。万一、機能不全や故障が発生したときは、アースは電流を地上に直接逃し感電事故の危険性を減じます。
- ●アース用導線を間違って接続すると感電の危険があります。

故障と思われる時の対応

ディスポーザ作動中の大きな騒音

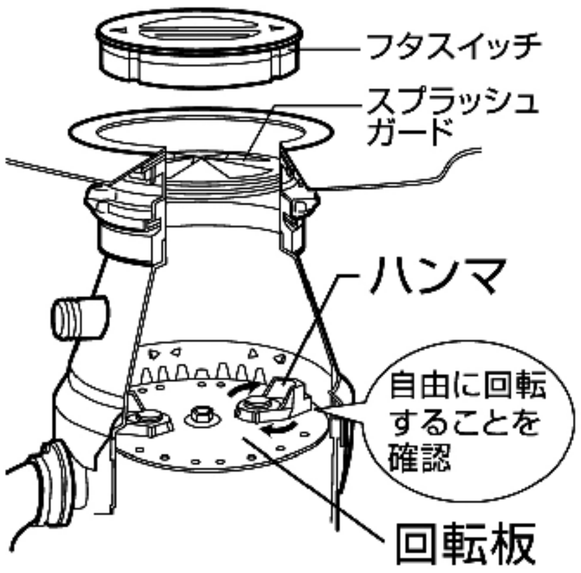
通常、スプーン、瓶の栓などの硬い異物がごみと一緒に間違って投入されたときに発生します。
まず、電源を切り、水を止めます。回転板の回転が止まってから、スプラッシュガードを外して内部を点検して下さい。異物があれば長柄のドライバー、ペンチ又は菜箸を使って取り除いて下さい。
回転板上のハンマに異物が固着している場合にも、大きな振動が発生することがあります。ハンマが自由に回転するかどうか確認して下さい（図１参照）。自由に回転しない場合は､原因となる異物を､菜箸等を用いて取り除いて下さい。

作動中のモーター停止

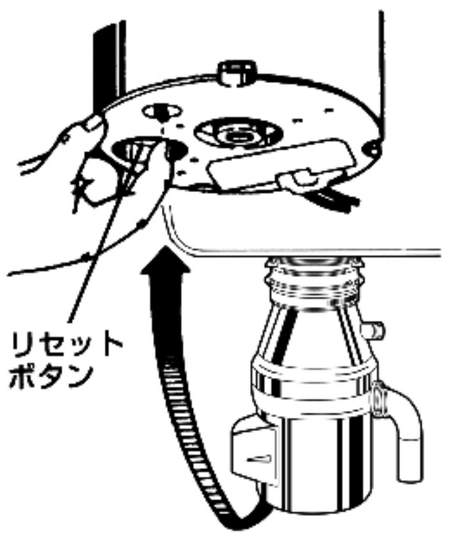
ディスポーザのモーターに負荷がかかり過ぎた時にモーターが停止することがあります。まず、過負荷の原因を調べます。なんらかの破砕できない硬い異物が混入している可能性があります。
必ず電源プラグをコンセントから抜き、前述のように異物を取り除いて下さい。約５分ほど待ってからディスポーザの底部についている赤いリセットボタン（図２参照）を押して下さい。それから電源を入れて下さい。それでもまだモーターが動かない場合には、ヒューズボックスやブレーカーを調べて下さい。

排水の不具合

排水に思ったよりも時間がかかり、生ごみが浮いたり、処理に長時間かかる場合は、排水管の一部が詰まっている可能性があります。まず市販のラバーカップをディスポーザの投入口にあてがい１０回ぐらいラバーカップを動かして下さい。それでも直らないようでしたらドレン・オーガーを使って詰まりを取り除きます。
（お分かりにならない場合は、専門の業者またはサービスマンに依頼して下さい。）



（図１）



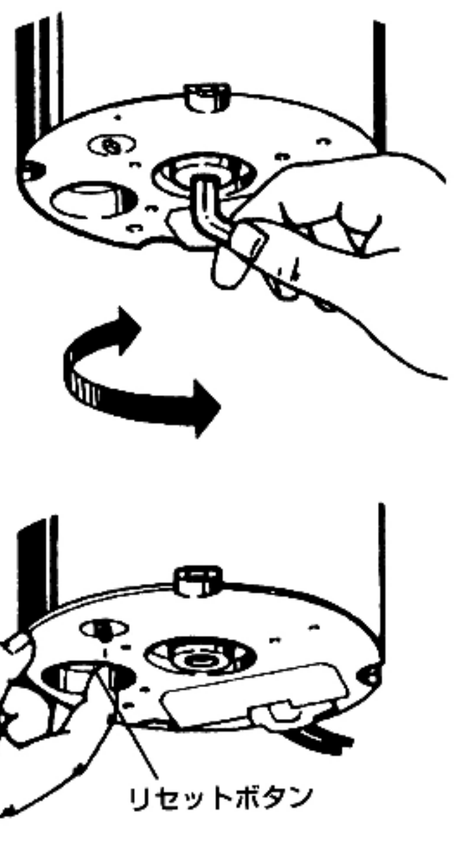
（図２）

異物の詰まり・噛み込みの解除

詰まり・噛み込みの解除方法

異物が混入するとディスポーザが詰まることがあり得ます。詰まりを除くに当たっては、人身傷害を避けるため必ず以下の手順に従って下さい。

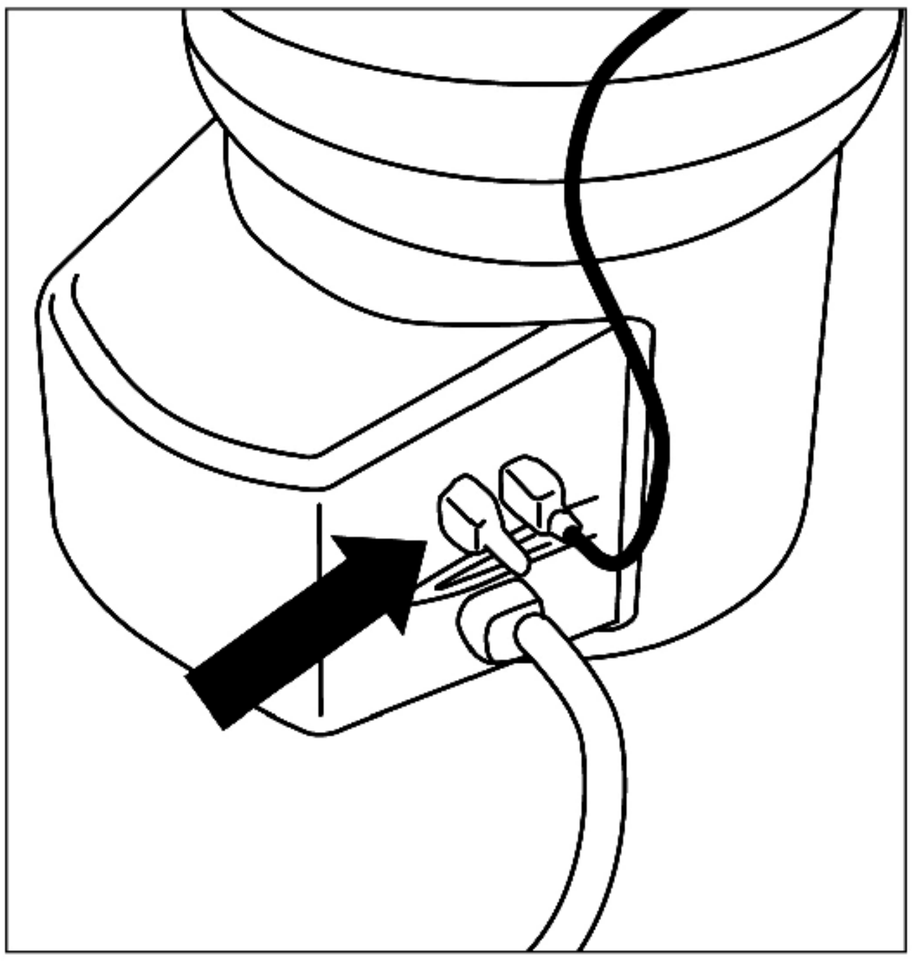
1. **電源プラグをコンセントから抜き**、水を止めます。
2. 付属品のセルフサービスレンチの一方を図の様にディスポーザの底の中央の穴に差し込みます。
3. レンチが自由に一回転出来るようになるまで回します。回せない場合は、ディスポーザ内部の異物を取り除きます。
   ディスポーザを再スタートさせる前にレンチは外して下さい。
4. ディスポーザのモーターが冷えるまで４、５分待ってから赤いリセットボタンを押します。（右図参照）



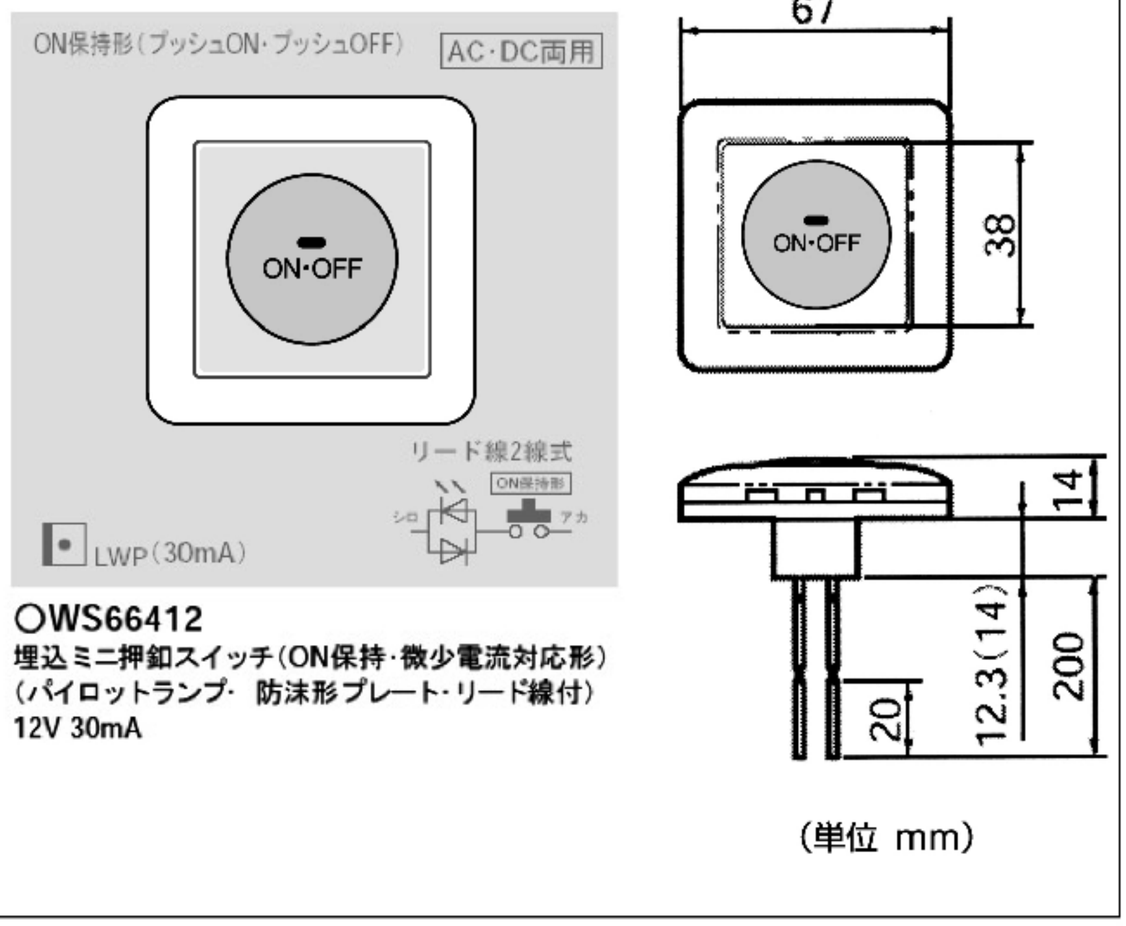
⚠ 警告

赤いリセットボタンを押す前に、電源プラグをコンセントから抜いていることを確かめて下さい。

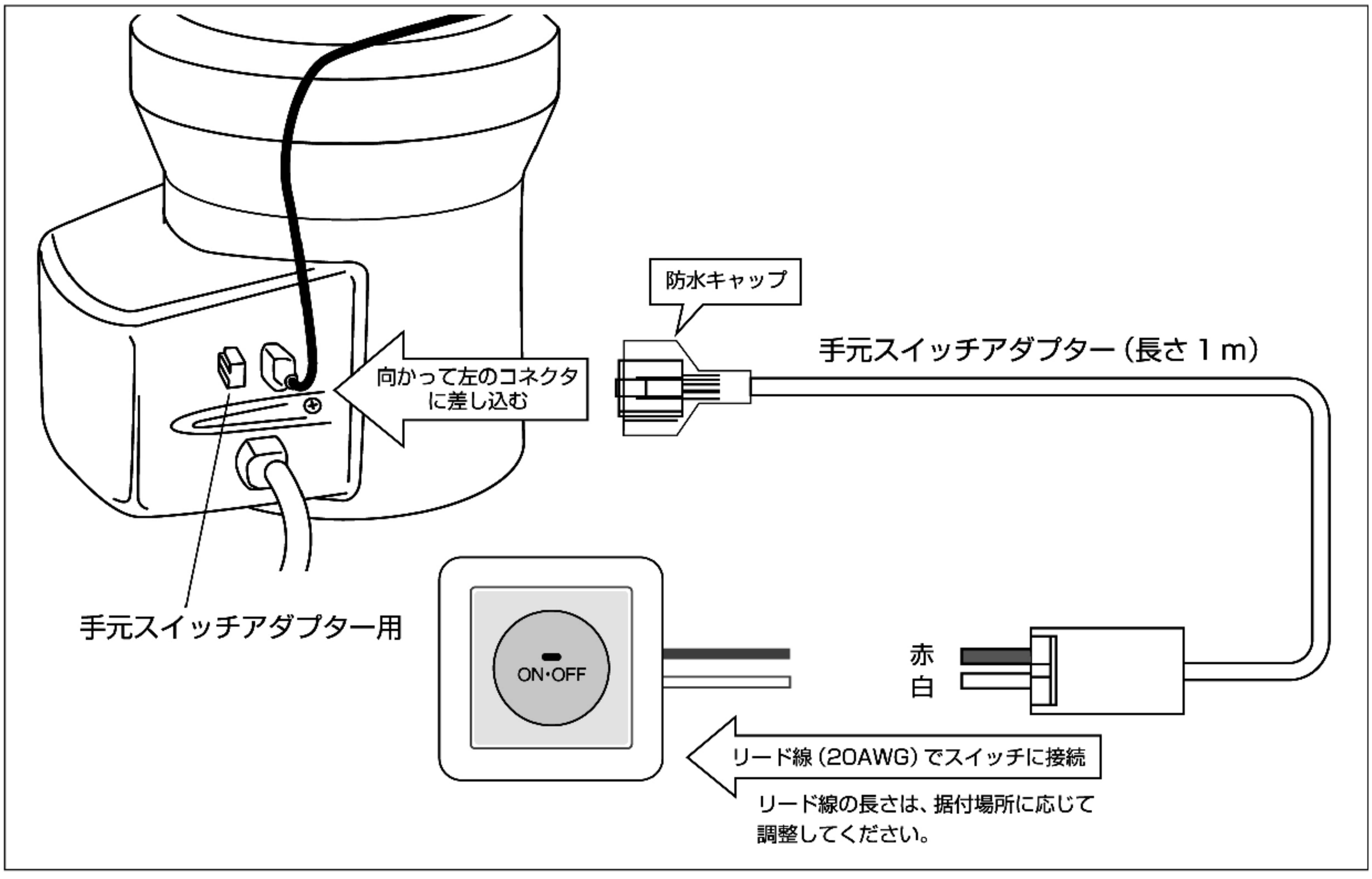
手元スイッチ取り付け方法　（市販品）



①外側のコネクタに差し込んであるソケットをはずして下さい。



②ＯＮ保持型ＤＣスイッチを用意してください。
（推奨品：松下電工株式会社　埋込ミニ押釦スイッチWS66412）



③手元スイッチアダプター（弊社別売り品）と、②で用意したスイッチをリード線で接続して下さい。アダプターのコネクタをディスポーザのコネクタにしっかりと差し込んで下さい。コネクタへの差し込み後は、コネクタ部を防水キャップで覆って下さい。

別売り品